

違法廃棄物根絶へ  
業者・自治体連携を

衆院委で武村氏指摘

衆議院の環境委員会が14日開かれ、武村展英氏（滋賀3区）が質問に立った。家屋解体などで一時的に大量に出る廃棄物の処理について、処理業者と自治体が連携することで違法な廃棄をなくすことが重要と、環境省に指摘した。

武村氏は、引越しや遺品整理といった時に出る大量の廃棄物について、引き取った業者が事業系廃棄物として処理するといった違法なケースが散見されるとした。「滋賀県では地元業者に委託して処理する自治体があり、このようなやり方を自治体間で共有しようとしている」と強調した。

環境省は、こうした事例が有効と認識を示し、「大

量の廃棄物処理が滞ることがないよう、各自治体に周知したい」と応じた。

（川越弘太郎）